

# 東京銭湯 探訪記

12

協力：東京都公衆浴場業生活衛生同業組合・東京浴場国民健康保険組合 他  
文責：編集部

## 天狗湯 澤 成一さん (杉並区西荻南)



### ほっこりして にっこり 笑顔になれる お風呂屋さん

杉並区は、東京23区の中でも、チャレンジ精神旺盛な銭湯経営者が多いことで知られています。今回お話を伺った杉並浴場組合支部長の澤さんは、元気な「杉並銭湯」のリーダー的存在です。

お客さんのハートをキャッチすることが得意な澤さん。昨年夏にご自身の「天狗湯」を黒塀造りの温泉宿風に改装し、着実に集客数を伸ばしています。進化の陰にはプロの指導があるとか。遊び心にあふれた「新生天狗湯」の全貌をご紹介します。

#### 「にしおぎ」人気銭湯へ

かつて本誌にご寄稿いただいた銭湯ジャーナリストのステファニー・コロインさんが、近著「フランス女子の銭湯巡り（G・B刊）」の中で、「女性ひとりでも入りやすい銭湯」として紹介している天狗湯。彼女のインスタグラムにも、天狗湯の「看板猫」がたびたび登場しています。

私もいつか訪れたいと思っていた銭湯です。昨年リニューアルされたと知り、取材をお願いしました。

JR中央線の西荻窪駅を降り、賑やかな商店街から閑静な住宅街に入ると、大きな三角屋根が見えてきました。

#### 天狗もニニコ

黒壁には、布製の赤い大きな「ゆ」の懸垂幕がかかっています。「天狗ものんびり 猫ものんびり」の文字とともに、天狗と猫3匹のイラストが描かれています。

目を細めて猫の背中を洗う天狗。まんざらでもない様子で背中を流される猫。かわいらしさに惹かれて、中にお邪魔しました。

#### 母、息子、そして、猫×3

ロビーでは、この陽気な懸垂幕の雰囲気そのままの店主が出迎えてくださいました。お母様とともに天狗湯を守っていらっしゃる、三代目の澤成一さんです。

そして、「天狗湯」と言えば、猫。白猫の「てんさん」、「ぐーさん」、黒猫の「ちゃーるさん」の3匹も立派な「店員」さんです。

連れて来られたのは「ぐーさん」。ステファニーさんの写真では子猫でしたが、すでにあどけなさが消え、貫禄十分に成長していました。餌を舐めるしぐさがお客さんに好評で、期待に応え続けた結果のようです。店内には猫グッズがあふれています。

#### 浴室美術館

ペンキ絵の富士山は、木の枠の中に描かれています。LEDライトで照らされているため、額縁の中の高級絵画を「鑑賞」する気分となります。



広い世代に楽しんでもらえるよう、湯舟は種類豊富です。ミクロバブル風呂、ミルク風呂、高温風呂、水風呂。浅風呂に半身浴が出来る深い風呂、と充実しています。女湯には、個室式のスチームバスがあります。

#### 接客にプロの視点を

再びロビーに戻って、澤さんにお話を伺いました。お邪魔した



ぐーさん



てんさん



のは1月でしたので、飾り棚はお正月の飾り付けとなっていました。

澤さんは現在、このディスプレイをはじめ、東京都浴場組合が行う「東京都公衆浴場活性化実証事業（銭湯ラボ）」を利用し、接客の手法、店舗空間のカラーコーディネート、SNS等による情報発信の技術などについて、専門家の指導を受けているそうです。

### 目指すは「居酒屋風」

指導内容は多岐にわたります。

例えば「目からウロコが落ちた」と澤さんが感心されているのが、お店に貼る注意書きなどのロゴです。筆ペンで書くことにより、パソコンで打ち出した文字にはない「味」が生まれ、銭湯全体が親しみやすい印象となります。



「居酒屋のメニューみたいでしょ」と澤さん。書き方のポイントは、「どこか一片を太くすること」だそう。続々と「新作」が生まれています。

他にも、QRコードを作ったり、入浴料金の支払いにスマホ決済を導入したり、アドバイスを参考に、日々新しい試みに挑戦されています。

### 工夫しながら前進

平成13年、番台からフロントに変え、約3年ごとに規模の改修を続けてきました。壁を木目調にし、額縁式のペンキ絵に変えたのが3年前でした。

少しずつでも前進させることが、澤さんの元気の源となっているようです。休みの日には各地の銭湯を巡り、日々工夫を重ねていらっやいます。

### 子ども達も注目

そんな中でも、昨年6月に黒塀の壁に張り替えことは、予想以上の反響をもたらしました。いつの間にか、新規の



出来ないのですね。かわいらしい懸垂幕は、はず向かいにある小学校のお子さん達にも人気のお客さんです。

### 杉並で温泉体験

澤さんが支部長を務める杉並区内には、20軒の銭湯があります。マスコミなどにも登場する、意欲的な経営者が多い地域です。

組合では、群馬県の吾妻峡温泉「天狗の湯」から直送する「ほっこり楽し湯」を企画するなど、銭湯を地域に根付かせるイベントを企画しています。

組合のモットーは、「次世代につながる杉並銭湯」。今後は、銭湯に馴染みのない世代に関心を持ってもらえる企画が大切です。お酒が大好きな澤さんとしては、居酒屋さんとのタイアップなども考えていらっやるとか。夢はふくらむばかりです。

バイタリティーあふれる澤さん。写真をお願いしたところ、シャッターを押すたびにポーズを変えてくださいました（掲載する写真選びに悩みました）。

心地よい街「しおぎ」に溶け込んだ天狗湯。暖かくなったら、散歩を兼ねて、色々なお湯を試しに行こうと思いをしました。

今度は、人見知りの「ちゃこーるさん」にも会えるかしら。澤さんの新たな試みも始まっているかもしれません。春が待ち遠しくなりました。

（取材日：1月10日）



お客さんも増え、休日には家族連れが目立つようになったのです。

「いくら内装を良くしても、外に向かってアピールしなければ、お客さんの心を動かすことは

## information

JR中央線「西荻窪」駅から徒歩7分  
営業時間：午後3時45分～深夜11時45分  
定休日：金曜日

## なるほど！ 銭湯 銭湯と風呂敷

エコブームで、その価値が見直されている「風呂敷」は、名前のとおり、お風呂屋さんと深い関わりがあります。

始まりは室町時代。当時の入浴は、薬草を燻した蒸し風呂式で、すのこの上に座る際、痛くないように「風呂敷」を敷いていました。時は流れ、江戸時代になると、庶民の間に湯につかる銭湯文化が広まり、手ぬぐい、浴衣、軽石などを包んで運ぶための四角い布を、「風呂敷」と呼ぶようになりました。



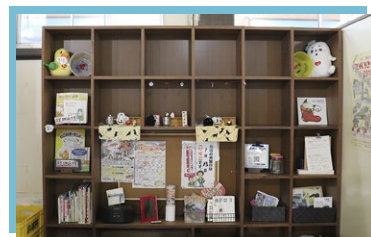
外観。2階は、風呂なし（天狗湯入り放題）の女子専用アパートです。



天狗湯名物「べろべろタイム」



女湯のモザイクタイルは、海をイメージして。



ロビーの飾り棚はプロの指導で、左右対称に飾ることを心掛けています。